

お母さんのこちよこちよ

小学校 五年

新田奈菜子

わたしの元気がないと

お母さんは、こっそり様子を見に来る

足音がしないから、ぜんぜん気づかない

いきなり、わたしのことをこちよがす

にげようと思っても

がしつとつかまれて、にげられない

「どうしたあ。元気ないぞ。」

そう言っつて、こちよこちよ、こちよがす

「やめて。」

っつて言っつても、だめだ

二人でいっしょに

おなかがいなくなるくらい大笑いして

いつの間にか、わたしのなやみは

どっかに、ふっとんでいった